……町政を問う……

佐藤　正 議員

7人が登壇

■当町の人口流出の歯止めについて町長に問う。
■新たな取り組みによるふるさと納税の増大と返礼品の町生産物利用について
■電気自動車の充電設備の設置時期と設備場所について

町長

□新庄中核工業団地に、事業誘致と雇用確保をめざす
□お礼品の拡充に努め、クレジット決裁を導入する
□11月末に工事完成の見込み

議員　若者が県外に流出の要因は就労の問題となっている。町長の政策について問う。

町長　当町では人口流出の歯止め対策として若者の雇用を確保するため平成19年に「真室川町産業振興条例」を設立し、雇用奨励補助金を交付。これまで雇用奨励金で採用された方は69名、このうち20代以下が27名、新規学卒者が18名若者の占める割合が6割を超え、若者の定住に寄与している。また、管内8市町村が連携して新庄中核工業団地に管外からの企業誘致に努め、地域雇用の確保を目指す。

議員　ふるさと納税が大きく伸びている市町村の取り組みを導入して、財源確保とふるさと納税制度を使ったPR効果とさらなる寄付者増大について問う。

町長　当町は本年1月からお礼品をリニューアルして寄付金額によって、コースの中からお礼品を選んで頂く形にした。50万円～100万円以上の寄付の場合、お礼品にプラスして「1日町長」か「梅里苑宿泊特別プラン」のどちらかを選べる特典を用意している。結果、25年度は寄付件数575件、寄付金額822万8,600円となり、前年より増加した。

今後は、関係事業者や観光物産協会、商工会と連携し、クレジットカード決済を導入し、より多くの方に「真室川ファン」になっていただくよう積極的に進め、お礼品の拡充にも努めていく。

議員　当町の電気自動車の充電設備の設置時期と設置場所について町長に問う。

町長　昨年12月定例会にて、急速充電器設置に係る設計委託費と工事請負費を補正予算として承認いただき、その後設置予定の町内2カ所のガソリンスタンドと設置場所等の打合せを行った。1月に設計業務委託契約締結し、3月18日に実施設計が完了。5月23日付けで、「一般社団法人次世代自動車振興センター」に対して事業費補助申請書を提出し、事業実施手続きは当初計画どおり進んでいる。事業申請書の審査を経て交付決定通知が7月下旬にあると推測すれば、8月中旬には設置工事を発注し、11月末には完成する見込みである。

早期設置が望まれる充電設備

所管事務調査

○「まざれや」のさらなる有効活用を！
○町道新及位・中ノ股線の早期改良を

常任委員会は、議案や請願について詳細に審査する機関です。

委員会ではより適切な審査を行うため、毎年所管する町の担当業務について現地調査を行っています。

その調査を元に、町に対して評価、改善事項を指摘し、よりよい町政に反映させて行きます。

総務文教常任委員会

◇6月30日～7月1日

（所管する課）
総務課・企画課
出納室・教育課
町立真室川病院

（調査した箇所）
◆真室川小学校
◆真室川北部小学校
◆廃校利活用の状況
・旧及位中学校
・旧差首鍋小学校
◆及位古道の状況
◆真室川あさひ小学校
◆自主防災組織
・宮沢地区
・川ノ内地区
◆消防林の管理状況
◆町立真室川病院の診療状況

「まざれや」施設内にて

（主な指摘事項）
・学校について、学力・体力向上が課題となっている。少子化により学級数や教員数も減少することから、学習支援のより一層の強化を。
・廃校利活用について、旧及位中学校は、民間企業による雇用拡大及び地域経済の活性化が期待できる。また、旧差首鍋小学校は「まざれや」として目標以上の利用者で、今後歴史民族資料館の巡回展示など検討されたい。
・自主防災組織について、補助事業を活用しながら資機材を備蓄するなど防災意識が高い。他地区組織へも積極的に推進されたい。
・消防林はもとより、学校林及び町有林についても、早急に利用計画を明確化すべき。
・町立病院について、在宅医療を含めた診療体制の中期的計画の策定をすべき。

産業福祉常任委員会

◇7月3日～7月4日

（所管する課）
建設課・産業課
町民課・福祉課

（調査した箇所）
◆介護予防施策（いきいきサロン）の状況
◆住環境快適サポート（太陽光発電）事業
◆町内空き家状況
・小川内地区
・沼田地区
◆無人ヘリによる水稲直播の取組み状況
◆6次産業化推進状況
・「まざれや」加工施設
◆小又・八敷代林道の落石防止工事の状況
◆総合運動公園の芝改修状況
◆橋梁長寿命化計画の現状
・三滝橋・上小又橋
◆町道新及位・中ノ股線の進捗状況
◆ヤナの要望に対しての対応状況

（主な指摘事項）
・介護予防施策について、サロン支援補助金の継続支援をし、若い世代の協力員の拡大に努力されたい。
・太陽光発電について、売電量などから補助金額が妥当か精査すべき。
・空き家について、所有者が不明といった特殊事情の場合は、危険防止の応急策を取るべき。
・橋梁長寿命化について、三滝橋の除雪車が通行できるよう幅員の改修を早急に行うこと。
・町道について、早期に完成するよう具体的な改良計画を策定すること。

町道新及位・中ノ股線にて